

あけまして

おめでとうございます。

旧年中は、多くの筆者の方々に、とてもお世話になりました。本当にありがとうございます。今後共、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

お正月というのは、どうして、どの局も、同じテレビ番組を制作するのでしょうか。出演しているタレントも同じで

どの局をまわしても、同じ顔が、出てきて、同じようにゲームをしたり、歌を唱ったり、本当に、みんな同じなのです。

そんな番組を目にする毎に、制作の局は、手を抜いていると思えません。

私は、一年の内で、お正月のテレビほど嫌いなものはありません。もしお正月の三日間、テレビの前に座わっていたら、きつと頭が、正月ぼけというか、テレビぼけになってしまうことでしょう。

お正月は、街が、他の日より静かにな

ります。お店の大半が閉まっているせいもあり、また、車も数もぐっと減って、空気が、変わるのがわかります。

街の中を歩くだけでも、それぞれの家の前に飾られた松飾りで、正月気分を充分味わえると思うのです。ゆっくりと、日本古来の文化を近くで味わえる日なんて、お正月ぐらいいいものではないでしょうか。低俗なテレビの前に座わっているより、よっぽど頭のためにいい気がします。

またいつそのこと、テレビもお正月は、お休みにしたら、さぞテレビ局の人にも楽だろうと思うのです。十月、十一月に、死にそうなの忙しい思いをしなくてもいい。もっと、ゆとりを持った良質の番組ができるのにと、思っています。お正月は、低俗テレビから離れてすこすことを提案します。頭のために……。

## 幼児の教育 第八十六巻 第一号

一月号 ◎

定価 四〇〇円

昭和六十一年十二月二十五日 印刷  
昭和六十二年 一月 一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 本 田 和 子  
発行人

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所 フレーベル館にお願いいたします

\* 万一製造不良の点がございましたら、おとりかえいたします。